

ためらわず救急車を呼んでほしい症状(大人)

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください!
重大な病气やけがの可能性あります。

顔

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する

腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる



ためらわず救急車を呼んでほしい症状(小児〔15歳未満〕)

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください!
重大な病气やけがの可能性あります。

顔

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い



胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

手足

- 手足が硬直している

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血が止まらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない



●家の中には危険がいっぱい

転倒 転落事故



- 家具や敷居につまずき
- コードにつまずき
- ぬれた廊下や浴室ですべり
- 階段を踏み外して
- 庭木の手入れ中の落下

安全策

家財などの整理整頓。
階段に手すりをつける。

急な 温度変化



- 冬の時期、暖かい部屋から寒い場所(風呂やトイレ等)に移動したとき急な温度変化で血圧が急変し、脳卒中や心筋梗塞を起こすおそれがあります。高齢者や高血圧等の持病のある方は特に気をつけましょう。

安全策

二番湯に入るなど浴室を暖かくしておく。
トイレの窓にはカーテンを付ける等、防寒対策を講じる。

【ふだん安全だと思われる家庭内で起こる事故には次のようなものがあります。】

溺れる



- 周りの者が目を離したすきに
- 子供どうして遊んでいて
- 浴槽のふたの上ののって
- 洗濯機の中に落ちて

安全策

幼児を浴室で遊ばせない。
洗濯機のそばには、踏み台となるものを置かない。

誤飲



- 小児では●タバコ
- 口に入るくらいのおもちゃ
 - アメ玉やピーナツなどの食べ物
- 高齢者では●餅・アメ玉などの食べ物
- 入れ歯など

安全策

誤飲のおそれのあるものを幼児の手の届く所に置かない。
餅などは食べやすい大きさに切る。

●正しい救急車の利用法



救急車の 呼びかた

119番が通じたら、次のように話してください。

- ① 救急です。場所は〇〇区 〇〇町の〇番〇号です。(わかりやすい目標などを言ってください。)
- ② 何(だれ)が〇〇(どうな)っています。
- ③ 私の名前は〇〇〇〇です。この電話は〇〇〇番です。

●サイレンが聞こえたら、救急車を誘導してください。

救急車を 利用できる場合

早く助けて!

- 緊急に
- 医療機関に搬送する必要がある、
- 他の搬送手段がない場合

救急車を 利用できない場合

- 軽い病気や軽いけがで、緊急に搬送する必要のない傷病者は利用できません。



救急車が到着するまでに

④ 救急車が到着するまでに次のことを行ってください。

- 応急手当
- 状況の整理
- 健康保険証などの準備



● 口頭指導

通信指令員が119番通報を受けてから消防車両が到着するまでの間に、電話で通報者に必要な応急手当の方法を指導することを、口頭指導といいます。

119番通報の際は、通信指令員の質問に答えるように話してください。

すぐに電話は切らないで!



⑤ 救急隊からの連絡

救急隊から次のような連絡が入ることがあります。

- 症状の確認
- 応急手当の指導
- 救急車の誘導



サイレンが聞こえたら、救急車を誘導してください。

救急車が到着したら

⑥ 救急隊に次のことを話してください。

- 救急車が到着するまでの傷病者の様子
- 傷病者に行った応急手当の内容
- 持病があればその病名、かかりつけ医、処方薬
- その他、救急隊員からの質問

消防隊による救急活動 (あかきゅう活動について)

消防車は、火事だけでなく救急や救助にも出動します。



◎ 救助出動

- ・交通事故などで、人が車から脱出できない場合
- ・大型の機械などに手や足をはさまれた場合
- …等



◎ 救急活動(あかきゅう出動)

- ・心肺停止など救命のために消防隊の協力が必要な場合
- ・消防隊が救急隊よりも早く現場に到着する場合
- ・活動上、多くの人手が必要な場合…等



「あかきゅう」とは消防隊による救急活動の愛称のことです。救急隊と消防隊が連携して救急活動を行います。北九州市の消防職員は、ほぼ全員が救急隊員の資格を持っています。

救急車を呼んだのに、消防車が来たと驚かないで!!

おたすけAED事業



消防局では、119番通報時に消防指令センターの地図上に、現場付近にある施設のAEDを表示し、消防指令センターの要請によって救命活動に使用する「おたすけAED事業」を平成27年11月9日から開始しました。

